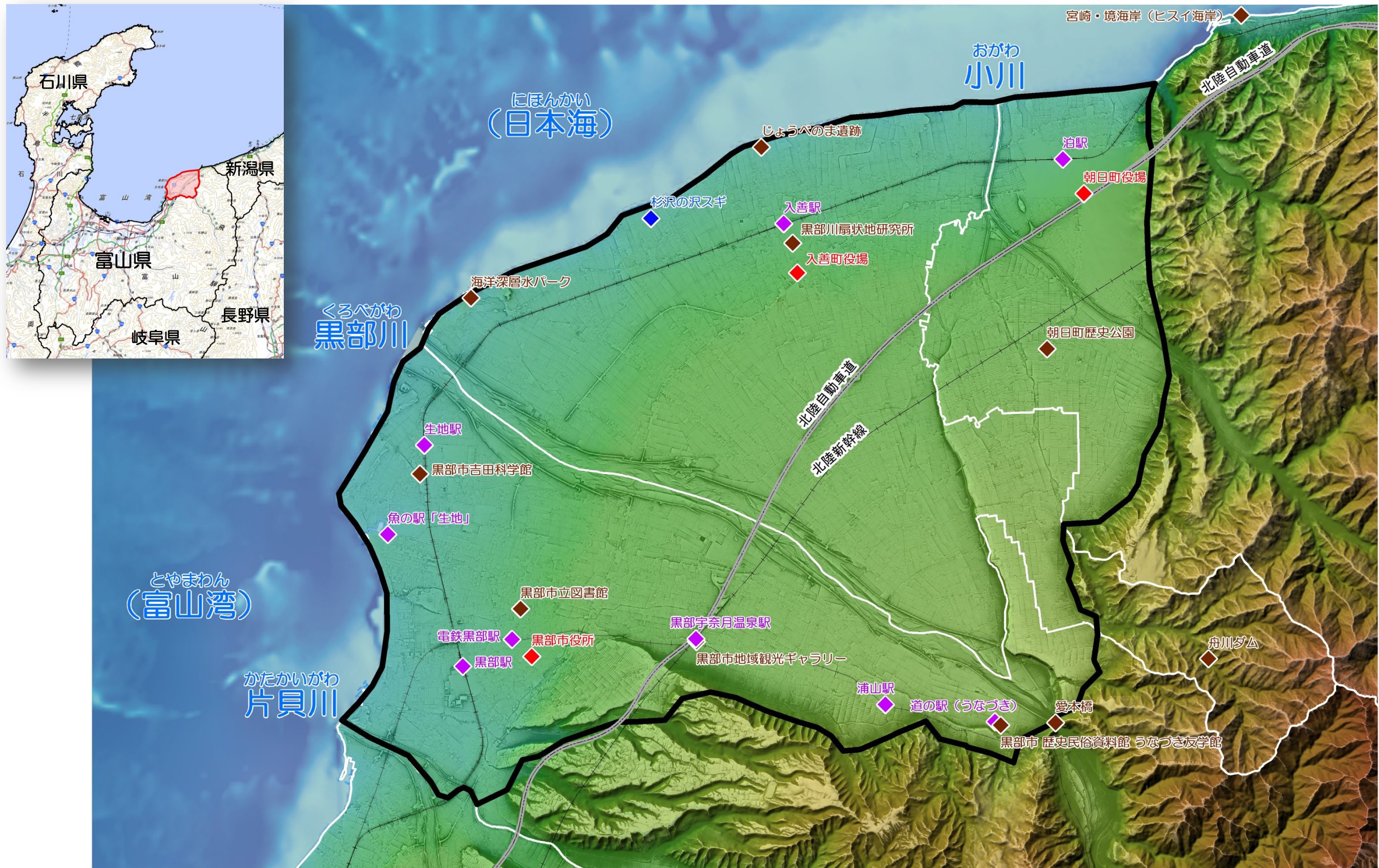


黒部川扇状地地区について



▲黒部川扇状地地区の位置

出典：色別標高図：国土地理院ウェブサイト (<http://maps.gsi.go.jp>)、背景図：赤色立体地図 (アジア航測株式会社)

△注意！必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

黒部川扇状地にある「市町」

くるべし 黒部市

「山」「川」「海」そして「温泉」のまち黒部

- 面積 427.96 km²、人口 41,677 人(平成 29 年 12 月末現在)
- 日本屈指の急流河川で知られる「黒部川」が流れています。
- 「生地地区」では清水と呼ばれる掘り抜き井戸による自噴水があります。
- 日本の原風景として、さまざまな「百選」に選ばれています。

黒部川扇状地湧水群(全国名水百選)
黒部海岸(日本の夕日百選)
生地地区(遊歩百選)
黒部峡谷の原生林(かおり風景 100 選)
宇奈月温泉(にっぽんの温泉 100 選)
など



▲弘法の清水(現地にて撮影)

▲富山湾上空から見た黒部市

にゅうぜんまち 入善町

「じゅわ〜っと にゅうぜん」

- 面積 71.25 km²、人口 25,189 人(平成 29 年 12 月末現在)
- 「杉沢の沢スギ」は日本で唯一、平地の湧水地帯にスギが生育する場所として国指定の天然記念物に指定されています。
- 生活用水や工業用水の水源として、地下水を多く利用しています。
- 日本一大きな西瓜の「入善ジャンボ西瓜」や海洋深層水を用いた、魚介類やミネラルウォーターなどの特産品があります。



▲杉沢の沢スギ(現地にて撮影)



▲入善ジャンボ西瓜(入善町パンフレットより)

あさひまち 朝日町

「うみ彦・やま彦・夢産地」

- 面積 227.41 km²、人口 12,294 人(平成 29 年 12 月 1 日現在)
- 日本の国石であるヒスイの原石が打ち上げられ、渚 100 選、快水浴場 100 選に選定された宮崎・境海岸(ヒスイ海岸)が有名です。
- 湧水や井戸を利用した複数の簡易水道などにより水道事業が行われています。また、個人宅や事業所にも自家井戸が数多くあります。



▲ヒスイ海岸(朝日町 HP より)



▲金山地区(朝日町)の地下水を利用した簡易水道施設(現地にて撮影)

黒部川扇状地地区の特徴

- 黒部川扇状地は、海岸に隣接する典型的な扇状地としては日本最大の広さを有し、黒部市愛本を扇の要とした、角度が約 60 度、扇頂から海岸までの距離が約 13.5Km、面積が約 120 km²にもおよびます。
- 北アルプスの鷲羽岳を源流とする黒部川が、扇状地上を流れていますが、扇状地全体には古い流路跡をたくさん見ることができます。
- 黒部川扇状地の地下水は、黒部川の河川水が重要な供給源となっています。
- 扇状地の地層は、砂礫層を主体としているため、地下水の流動性が良好であると同時に、砂礫層からのカルシウムやナトリウムの溶け込みが少ない「軟水」が豊富です。
- 標高約 3,000m の北アルプスの山頂から、深さ約 1,000m の富山湾の海底まで標高差が約 4,000mある特徴的な地形です。
- 平成 26 年に「立山黒部ジオパーク」に認定され、ユネスコのジオパークへの登録を目指しています。



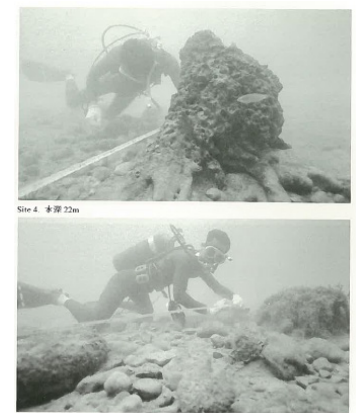
▲黒部川扇状地と立山連邦(「新・黒部川物語」より)

黒部川扇状地地区の歴史・文化

- 黒部川は扇状地を形づくる暴れ川として、古より北国街道の難所として知られていました。
- しかし、江戸時代、北国街道は加賀藩など北陸の大名家の参勤交代の要路として使われてきましたが、寛文 2 年(1662 年)に加賀藩 5 代藩主前田綱紀が難所である黒部川の渡河のため岩盤が迫り川幅も狭くなる扇頂部の愛本に架橋し、通行の便がよくなりました。
- また、昔から黒部川の氾濫とその恵みを楽しんできた地域であり扇状地のあちこちに水神碑や水神社が祭られています。
- 海岸には古来より、日本海の手運を支えた生地や泊など、北前船の中継地として重要な港を有していました。
- かつて、扇状地の扇端付近には湧水を水源とする小河川が発達しその周辺では湿潤環境を好むスギなどが生育して杉沢が点在していました(今では、天然記念物に指定された「杉沢の沢スギ」がかつての面影を残しています)。
- また、昭和 55 年(1980 年)には扇状地の沖、水深 20~40m の深さに海底林が発見され、氷河期の海面低下と陸地の拡大、その後の海面上昇という過去の気候の変化をダイナミックに示す地学的証拠として有名になりました。



▲杉沢の沢スギ(杉沢の沢スギパンフレットより)



▲入善沖の海底林(「海底林」より)